

わたしたち、社会福祉法人玉柏会は、地域社会の中で「ともに生きる」ことによる「しあわせ」を目指していきます。



玉 柏 会



(玉柏会 創立記念式典 青木様)

特集 : 第48回 創立記念式典 ご利用者年末年始のお楽しみ

目 次



社会福祉法人 玉柏会

玉柏会 理事長より	2
海野理事長表彰 中央荘コロナクラスターの発生について	3
中央荘 創立記念式典	4
(特集)年末年始のお楽しみ 中央荘	5
(特集)年末年始のお楽しみ みすず オークリーブス	6
ご利用者の健康への取り組みについて	7
金田様フライングディスク全国2位 すずの独り言	8

本部 中央荘 みすず かりん
かしわ寮・すずらん・オークリーブス

〒424-0301

静岡県静岡市清水区中央362番地

☎054-394-0311 FAX 054-394-0312



「春到来！！」

(癸卯 みずのとう)

月日が経つのは早いもので、令和5年も2月となりすこしづつ春を感じさせる季節となってきました。今年の干支は【卯】うさぎで癸卯(みずのとう)にあたる年です。癸卯は去年までで様々な事に区切りがつき、次へ向かっていく、そこに成長や増殖と言った明るい未来が広がっていくと解釈できると言われています。

この4年間コロナ禍や戦争、紛争、弾圧、差別、自然災害等が続いてきましたが、一人々々が幸せを実感できるきっかけとなる年にしたいものです。



社会福祉法人玉柏会
理事長

海野和雄

(にやりほっと)

ほんの小さな事例ですが、玉柏会では幸せを実感する“にやりほっと”運動を展開して4年になります。ご利用者同士、ご利用者と職員、職員同士の思わず微笑んでしまう心温まる思いやりの言動やエピソードを意識的に見つけ出しそれを“にやりほっと掲示板”に掲載し皆で共有しています。新しい事例が掲載される度に心が洗われる思いです。元々他人同士のご利用者150人、職員80名が共同生活をしている訳ですから違いや合わない点は一杯あります。その中でどんな小さな事であっても他の人の良いところや変化を見つけ出した時の喜びは格別のものがあります。玉柏会という場での巡り会いと絆を今後も大切に育てていきます。

(献身というDNA)

コロナ感染の第8波で、昨年10月に続き本年1月にも宍原荘でクラスターを発生させてしまいました。昨年の反省に基づき感染者や濃厚接触者の迅速で徹底した隔離対策を実施し、重症化と拡散化を防ぎ、現在では全員無事に従来同様の生活に復帰出来ています。この間、職員は感染の恐れを顧みず献身的な治療や介助活動を実践してくれました。本当に頭が下がります。ありがとうございました。

半世紀前の創立時、障害の重い、軽いに関わらず、困っている人は全て宍原荘に受け容れた役職員の心意気と自前の努力は今も玉柏会に脈々と引き継がれています。創立時のDNAに加えて今回のコロナ禍対応活動も新たなDNAとなっていくと確信しています。

(車の両輪)

社会福祉法人は創立の目的や理念をDNAとして継承発展させ、一方で自立的収益基盤の確立を図ってきました。正にこの車の両輪をバランス良く回してきました。ところがコロナ禍による入所者の安定的確保が困難となり、更に入所者の高齢化による疾患重度化への介護治療的対応が重なり、福祉法人の経営を圧迫してきました。加えて物価の驚異的な高騰の直撃を受けています。民間企業と違い報酬への転嫁が不可能な条件下、正に本気で業務の改革を実現させていく他はありません。歯を食いしばって理念やDNAを維持発展させると共に自立的収益基盤を確固としたものにしていかなければなりません。収益基盤の強化は、①ご利用者の支援活動充実のため ②職員自身の給与や福利厚生を含むライフワークバランス向上のため ③福祉事業という社会の必要要件の場死守の為である事を再認識して車の両輪をバランス良く回していくことが肝要です。福祉の共生理念やDNAをおろそかにしたら存在意義はなく、一方収益基盤強化なくして法人の存在維持は不可能です。

以上

海野理事長 静岡県更生保護協会 表彰のお知らせ



当法人の海野和雄理事長は、令和4年12月7日静岡市民文化会館にて、関東地方更生保護事業連盟(会長小畑哲夫氏)より、多年にわたる更生保護協会理事としての功績につき表彰を受けました。

平成28年より静岡県更生保護協会の理事を務められております。更生保護は、罪をつぐない、再出発しようとする人たちの立ち直りを助け、再び犯罪や非行を犯すことを防ごうとする活動であり、保護司、協力雇用主、更生保護女性会、BBS、更生保護法人等の多くの民間人・団体が国に協力して様々な活動をしています。

海野理事長は、静岡県更生保護協会の理事として保護司活動及び保護司会の運営に対する助成を行う立場で活躍されており、公私にわたり広く福祉活動に携わっております。(施設長 杉山弘志)

各事業所でのコロナウイルス クラスター発生のご報告

令和4年10月の台風による断水の混乱後、とうとう穴原荘に於いても主に二階の女性ご利用者を中心に、コロナクラスターが発生してしまいました。様々な施設でコロナクラスターが発生している中、各施設からも施設内でクラスターが発生した場合、対応に追われて大変と言うお話は何度も聞いてはいましたが、想像以上の感染力の早さ、強さに大変苦労致しました。

幸い、皆さんワクチン接種済みで重篤化するご利用者はおらず一旦は収束し安心致しました。

しかしながら、再度年明けに今度は男性三階のご利用者を中心にクラスターが発生、一階にも感染者が発生し10月に感染を防ぐことが出来たご利用者や職員に感染し、再び大変な思いをする事になってしまいました。

ご利用者の皆様、保護者の皆様、その他短期ご利用者等関係者の皆様には大変ご心配、ご迷惑をおかけした事をお詫び致します。

お陰様で2月初旬、ようやく収束しました。まだ続くと思われるコロナ禍、より一層慎重に対策をし、繰り返さないように努力致します。



(看護師 遠藤)



第48回 創立記念式典の開催

令和4年12月11日、48回創立記念式典が開催されました。中々収束の目処が立たないコロナ禍のため本来なら外部の方、保護者様にもお越し頂き盛大に開催する行事ですが、昨年度同様、時間も短縮しご利用者職員のみでの開催となりました。しかしながら、表彰を受けたご利用者の皆様、大変嬉しそうで、誇らしげな様子が伺えました。豪華なお弁当と紅白饅頭を食べ、アトラクションは恒例の穴原太鼓の演奏とカラオケ。久々にご利用者全員が集まって行ったカラオケは大変盛り上がりがありました。コロナ禍が始まりもう4年目となります。

来年こそ従来通りの形で創立記念式典が開催出来る事を期待します。

(支援員 高瀬)



迫力の穴原太鼓



カラオケで大盛り上がり!!

社会福祉法人玉柏会創立記念式典祝辞(みすず保護者会長 遠藤真理様より)

社会福祉法人玉柏会創立48周年おめでとうございます。玉柏会の理念は『共生』です。地域社会の中で「共に生き」「幸せ」をめざすというこの理念のもと私達の子ども達は、ここ「みすず」で、スタッフの皆さんと共に働き、仲間として毎日共に生きています。

そして、この「共生」という考え方には、「利用者」と「支援者」という立場を超えたものがあり、いわば「家族のような優しい愛情」の存在をさえ感じられるのです。

「愛」について、このような言葉があります。

愛は辛抱強く親切です。

愛は思い上がりせず、自分のことばかり考えず、いらだちません。

愛は傷つけられても根に持ちません。

愛は全ての事を忍耐します。」

「共生」という理念を実践するには、自分の気持ちを押しつけるのではなく、相手がどうして欲しいのかをまず考えるという繊細でそして強い意志が必要だと思うのです。

そしてこれを達成するための、みすずのスタッフの皆さんの日々の努力と、玉柏会のバックアップに保護者会は感謝しています。

皆さんもお互いを大切に、助け合って1日1日を笑顔で頑張りましょう。

そしてみんなで輝きましょう。

こんな素敵な「共生」という理念を持つ玉柏会が、益々「福祉の希望の星」となることを願って、お祝いの言葉とさせていただきます。



【特集】

終わらないコロナ禍、入所施設である宍原荘を始め、他の事業所も思うように年末年始の行事に制限がある中、それぞれの事業所が、工夫を凝らしてご利用者の皆様を楽しんでいただこうと頑張っています。
玉柏会職員一丸となってこのような時期だからこそ、ご利用者の最高の笑顔を見られるよう工夫し頑張っています！

(特集) 年末年始のお楽しみ 宍原荘

宍原荘では各グループ、コロナウイルス流行のためご利用者皆様一時帰宅も出来なかったものの、感染対策をしつつも、なるべくご利用者の皆様に年末年始を楽しんで頂けるよう様々な行事を企画致しました。



メリー
クリスマス！



いかがでしょうか？コロナ感染防止対策に十分配慮した上でクリスマスは外出に出かけたり、サンタさんが来てお菓子を皆様にお配りしたり、お正月の準備をしたり、おせち料理を食べたり、飲みたいご利用者はビールを飲んだり、つらいコロナ禍ではありますが皆様も職員も一緒に楽しい年末年始を過ごすことが出来たと思いました。

(支援員 松永)



あけまして
おめでとう！

(特集) 年末年始のお楽しみ

みすず

みすずの12月は、「季節の活動(冬)」と「忘年会」があります。

季節の活動では、毎年大きなクリスマスツリーを玄関に飾ります。勿論、ご利用者の皆さんが交替で飾りますが・・・その他、今回は愛護ギャラリー展の見学も分散型で行ってきました。後は、いつも通り仕事(作業)です。でも・・・サプライズとしてサンタクロースが来所されております。岡地区社会福祉協議会様がプレゼントを持って来て下さったのです。ご利用者の皆さんは嬉しいびっくりでした！

また忘年会では、みすずから徒歩10分の宴会場での開催と、更に徒歩10分の富士山清水港クルーズ(ベイプロムナード号乗船)で年末の打ち上げとして楽しませております。
(みすず管理者 鈴木)



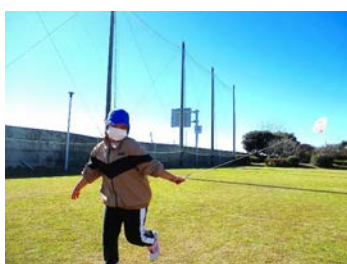
(特集) 年末年始のお楽しみ

オークリーフス



**12月のカレンダー
をつくったよ！！**

令和4年最後の活動は、ハイキングも兼ねてみかん狩りに行ってきました。遠くに見える景色をながめ、「やっほー」とやまびこを楽しんでいました。初めはみかんの採り方に戸惑っていましたが、職員にやり方を聞きながら、段々と慣れてきて袋一杯になるまで収穫していました。最後に収穫したみかんを皆で食べました。天候にも恵まれ、良い経験ができました。



年始は初詣に興津宗像神社に行ってきました。参拝の練習をし、みんなで行くことが出来ました。参拝後に、職員が「出来たね」と喜んでしまいました。帰りに興津中町公園で、自分たちの手作り凧を揚げました。「飛んだ」と笑顔で走りながら嬉しそうでした。休憩していたご利用児も、凧揚げに参加する姿が微笑ましかったです。今月の活動の中で、もう少し凧揚げを楽しみたいと思います。

(児童発達管理責任者 深田)

ご利用者の健康管理について

日本障害者歯科学会 理事長 小笠原歯科医師 健診



昨年4月横砂にご開業された“よこすな歯科クリニック”様。宍原荘 協力医として小笠原先生に定期的な歯科健診を行って頂けるようになりました。

よこすな歯科様は障害のある方や持病のある方、要介護の方等、歯科治療に対して恐怖心が強く、なかなか協力が得られない場合に対しても安全に配慮した治療を行うため様々な方法を用いて歯科治療を行って下さいます。患者様に対してはもちろんのこと、ご家族の方や施設職員関係者の方々にも寄り添いながら長年の治療経験を活かし患者様の特性に合わせ、治療方針を立てて頂けます。口腔内の健康を保つことは、全身の健康の維持に繋がります。宍原荘としても、また清水区の障害等がある方、その関係者にも心強い味方となって頂けます。

(歯科衛生士 松風)

明海大学 歯学部 摂食嚥下 リハビリテーション学分野 大岡教授 ミールラウンド



宍原荘のご利用者も高齢化が進み筋力の低下により嚥下に心配のある方も増えてきました。高齢化に伴い心配されるのが誤嚥性肺炎です。その他にも障害特性による食べ方や口腔環境により、食べ物を詰まらせてしまうなど、窒息リスクの高いご利用者が多数宍原荘にはいらっしゃいます。安全に食事を摂って頂けるように大岡教授に食べ方を診て頂き個々に、どのような食環境で、どのような食形態が良いのか適切にアドバイスを頂いています。定期的に継続し診て頂いていることで食事の支援方法や食形態が変わったご利用者も多数おります。

ご利用者にとって【食】は一番の楽しみであり喜びでもあります。ご利用者に安心しておいしい物を、お口から食べて頂けるよう見守って頂いています。

(歯科衛生士 松風)

清水駿府病院 内科医 氏家先生往診



前回にもご紹介致しました、宍原荘の内科嘱託医となった氏家先生が往診に来て頂いています。

普段の生活から支援員がご利用者を観察して不安に感じていることや、ご利用者自身が不安に感じていることにも丁寧に対応して下さいます。

インフルエンザワクチンの接種、コロナウイルス5回目のワクチンの接種にも関わって下さり、宍原荘でコロナウイルスのクラスターが発生した際は都度適切なアドバイスや高齢や持病のあるご利用者には迅速に抗ウイルス薬を処方して頂けるなど、氏家先生のおかげもあり重症化に至ったご利用者は一人もいませんでした。本当にありがとうございます。これからも宜しくお願いします。

(看護師 山本)



中央荘金田様 フライングディスク全国大会2位！！

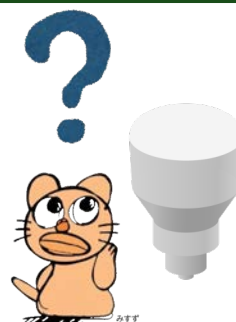
第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に中央荘よりフライングディスク競技で、金田真琴様が出場されました。金田様は2019年から選手として選出されていましたが、初年度は台風で直前に大会が中止となり、その後2年はコロナの影響で大会自体が開催されませんでした。

今回、各都道府県・政令指定都市の代表が栃木県に集まり、静岡市代表として金田様が参加しました。大会中コロナ対策としてPCR検査や抗原検査を何度も繰り返しつつ、競技の結果は見事！アキュラシー(5m先のリングにディスクを通す競技)で10投中8投成功で2位、ディスタンス(ディスクを遠投する競技)で4位の成績を上げ、ご本人も満足した結果の様でした。(支援係長 鈴木)



すずちゃんのひとこと

洗面所、トイレからご利用者の声が聞こえる・・・
吾輩の空耳だろうか・・・いや事件発生の声なのか・・・もしかしてお化け！
「電気壊れたー」「明かりが自然に点いたー」「えっ消えた！」「あれ、またついた！」
それは蛍光灯のLED化だったのだ！しかもセンサー付きの場所もあり！
ところで吾輩が通っても点いたり消えたりするのだろうか？？？今度試してみよう！
それよりトイレのセンサーとやら・・・、「じっとしていれば消える」のであれば、吾輩が
消灯タイマーを調整しておこう！



(みすず すず)

ご相談は、下記の電話へどうぞ！

電話
054-340-3565

FAX
054-340-3566

E-mail
suzuran@tamagashikai.com

お悩み・相談なんでも
受け付けます。

すずらん

各事業所見学者募集！！

中央荘への施設入所、短期入所に興味がある、就労継続支援B型支援事業所で働いてみたい、放課後等デイサービスを使ってみたい。それ以外でもとりあえず、見学してみたいなどご要望があれば承ります。詳しくは、左記“すずらん”あるいは中央荘までお電話下さい！！



【この記事に関するご意見や
お問い合わせは】

(中央荘)
電話：054-394-0311
FAX：054-394-0312
E-mail
sisiharaso@po4.across.or.jp
QRコード



玉柏会では皆様のお声を
お待ちしております。